

終業式 講話 令和3年12月23日

No 23 「耳と目と ①」

こんにちは。

校長先生の声届いていますか？ 2学期終業式のお話しをします。

長かった2学期もとうとう終わろうとしています。何日あったか知っていますか？ 日間ありました。なんだか終わってみたら短かったなあと校長先生は思いました。

今年の漢字の方もご応募ありがとうございました。今年の漢字は「金」でしたね。オリンピックでもりあがったからでしょうか。

それとも国會議員が1日でも働いたら1ヶ月分の文書交通費の100万円がもらえるなどお金に関わるお話しが多かったからでしょうか。

さて、こここのところ空気に重さはあるのかというお話しをしていましたが、今日で決着をつけましょう。

最後にききます。

空気に重さはあるというひと？

空気に重さはないというひと？

答えはある！です。

では証拠の実験を今からしてみたいと思います。実は一番最初に行ったボールの実験にその答えはあるのです。ぺちゃんこのボールと、空気を入れたボールどちらも同じ重さだったと、覚えてますか？だから空気に重さはないと言ったかもしれません。しかし、実はあのあと、もう少し空気を入れていきますとどうなるか。見ていてください。

なんと、ボールにぱんぱんに空気を入れると、少し下がってきます。これは、同じ大きさのボールでも空気を思いっきり入れると下がる、つまり空気には重さがある証拠なのです。

ただ、あまりに軽いので、普通はその重さを感じることはできません。でもうちわであおいだり、マジックのように風の力でものを動かすぐらいの重さはあるのです。

さて、最後に校長先生から冬休みの宿題をお話しします。みなさんは今、目でモニターに映っている校長先生の顔を見ています。そして、耳でお話しを聞いています。校長先生の顔を見たくない！というときはどうしますか？

簡単ですね。目を閉じればいいのです。ではお話しも聞きたくないというときはどうしますか。手で耳をふさぎます。なんで？目はまぶたをとじればいいのに、耳にはまぶたみたいなのがないのでしょうか？手や指でふさいでも、目のよう完全にふさぐことはできません。どうして耳はふせげないつくりになっているのでしょうか？すこしまわりの人と聞き合ってみてください。

わかんない？難しいですよね。また3学期のはじめに、その答えを発表しますので、この冬休みよーく考えておいてください。もちろん、おうちの人と相談してみてもいいですよ。

冬休みは短いです。でも、大晦日やお正月など大きな行事がたくさんあって、事故やケガが起こりやすい休みもあります。安全や健康には十分注意して過ごしてください。そして、1月12日の3学期始業式には全員が笑顔で登校できますよう祈っています。それではみなさん、良いお年をお迎えください。